

令和2年度 学科AO入試 総合考査 問題用紙【体育学科】

試験時間：60分

次の文章は国際オリンピック委員会によって採択された「オリンピック憲章:オリンピズムの根本原則」の2018年版の抜粋です。その中で「オリンピック精神に求められるもの」が述べられています。次の「オリンピズムの根本原則」を読んで問1に答えなさい。

オリンピズムの根本原則

1. オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。
2. オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。
3. 略
4. スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。
5. 略

問1. 上の「オリンピズムの根本原則」を現実にオリンピックの舞台で実現することは近年難しいと指摘されています。その一方で、オリンピック大会(試合)で実際に「オリンピズムの根本原則」に合致した事例も見られます。上の「オリンピズムの根本原則」に合致したオリンピックの事例(IOCの方針、選手の態度など)を一つ取りあげて紹介し、その事例が上の「オリンピズムの根本原則」のどの部分に合致するのかについて述べなさい。

次のオリンピック憲章を読んで問2に答えなさい。

第5章Ⅳの57「入賞者名簿」

IOCとOCOGは国ごとの世界ランキングを作成してはならない。OCOGは各種目のメダル獲得者と、賞状を授与された選手の氏名を記す入賞者名簿を作成し、メダル獲得者の氏名をメインスタジアム内に目につきやすいよう、恒久的に掲示するものとする。

註:IOC:国際オリンピック委員会

OCOG:オリンピック競技大会組織委員会

問2. なぜIOCとOCOGは国ごとのメダルランキングを作成してはならないのか。その理由を先の「オリンピズムの根本原則」1, 2, 4を参考にしながら記述しなさい。